

臨床研究に関する情報の公開

作成日：2026/8/31

研究課題名	肘部管症候群・手根管症候群含む絞扼性神経障害における外科治療成績の検討
研究の対象	2021年1月1日～2030年12月31日の間に18歳未満の当院で肘部管症候群・手根管症候群含む絞扼性神経障害の診断・外科治療を受けられた方で初発時18歳未満で外科治療を受けられた方。
研究目的	末梢神経障害とくに絞扼性神経障害について、術前神経伝導検査にて SNAP の低下・消失される患者(低下の定義は5 μ V 以下)は治療効果は低いと推測されるが実臨床では、効果を認める症例も少なくない。また、術前高度の運動障害を認める患者についても同様である。そこで 肘部管症候群・手根管症候群含む絞扼性神経障害における術前の症状・検査結果・外科治療成績を調べることで手術時期等ふくめ今後の治療の参考とする。症例が蓄積すれば、術前検査・所見で効果が高い群を示す指標を提唱し、検証も考えている。対象群として、 ①SNAP 消失群の中で改善・非改善の要因分析②筋萎縮群の中で改善・非改善の要因分析③筋力低下群の中で改善・非改善の要因分析を想定している。
研究方法	当院における肘部管症候群・手根管症候群含む絞扼性神経障害における外科治療成績の検討を目的とする。術前後の患者情報（神経所見・既往歴・生理機能検査等含む）を電子カルテ等から集積する。
研究に用いる試料・情報の項目 (例：血液、検査データ、診療記録等)	上記
研究期間	2021年1月01日～2030年12月31日
外部への試料・情報の提供、取り扱いについて	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究代表者の氏名及び所属する研究機関の名称	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 長尾紀昭
研究責任者および試料・情報の管理責任者(共同研究の場合は研究代表者)の氏名及び所属する研究機関の名称	社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 長尾紀昭
上記以外の研究機関の名称	なし
本研究に対するご質問などについて	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。
ご質問のお問い合わせ先	研究責任者： 社会医療法人寿会 富永病院 脳神経外科 長尾紀昭 連絡先： 社会医療法人寿会 富永病院 大阪市浪速区湊町 1-4-48 電話 06-6568-1601